

上海市環境保護事業の情勢と展望

上海市環境保護局副局長 孫建

一、上海市環境保護事業の回顧（概要）

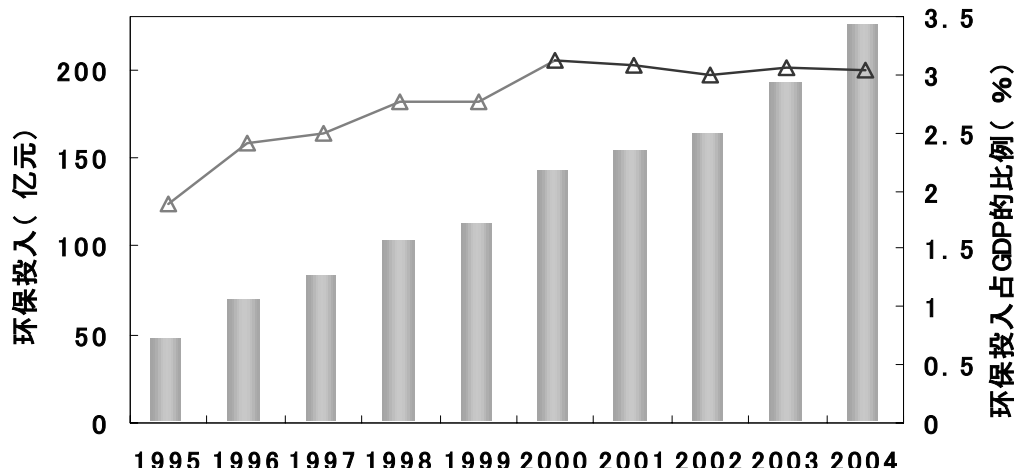
（一）“十五”期間の主要な成績

環境建設の高速度の推進

竹園、白龍港などの汚水処理施設を建設し、新たに汚水処理能力 400 万トン/日を増強し、汚水処理率が 70%に達した。御橋および江橋のごみ焼却場、美商ごみ総合処理場など生活ゴミの資源化、無害化施設を建設し、無害化処理率が 70%に達した。全市で 591 平方キロメートルの「基本無燃煤区」（石炭燃焼が基本的に無い地域）の整備を計画し、そのうち環状線内に無燃煤区を建設した。2つの発電所に3台の石炭燃焼施設の脱硫工程を建設した。全市で 7416 ヘクタールの公共緑地を新設し、郊区に 54230 ヘクタールの林地を建設して、国家園林都市の創建に成功した。

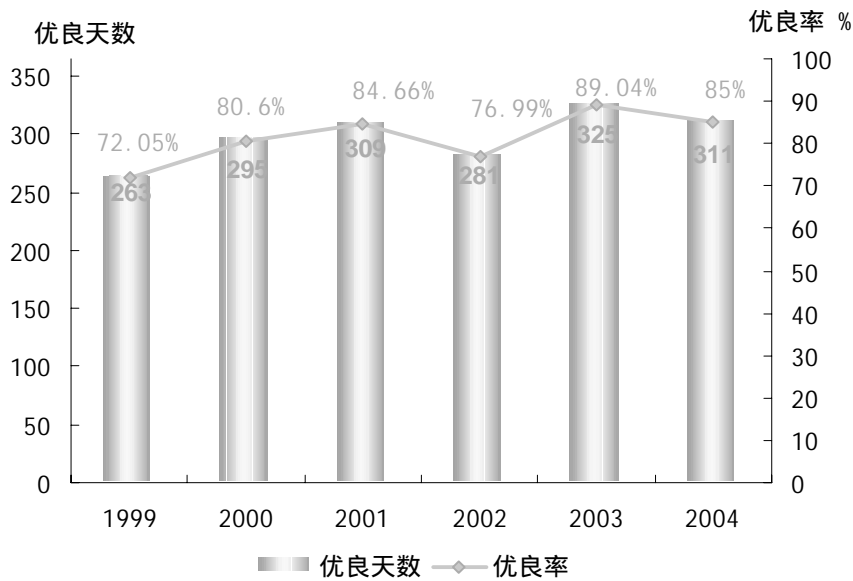
環境保護投資の持続的増加

環境保護投資は GDP の 3%以上を維持しており、投資規模は年率 10%の割合で漸増している。（訳注：下記図は左軸が環境保護投資額[億元]、右軸が環境保護投資の GDP に占める割合[%]を示す。）

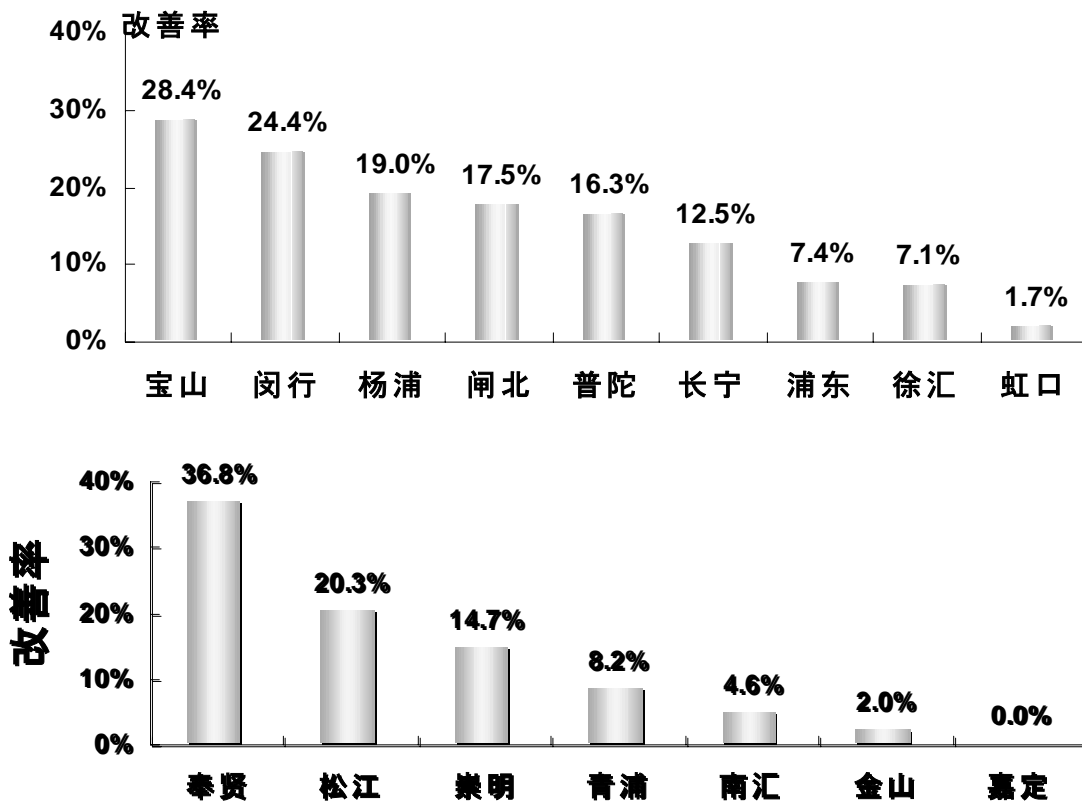


環境質の明らかな改善

2003、2004 年は、上海市の大気質報告史上初めて 2 年連続、優良率 85%を実現した。（訳注：下記図は左軸が優良日数、右軸が優良率を示す。）

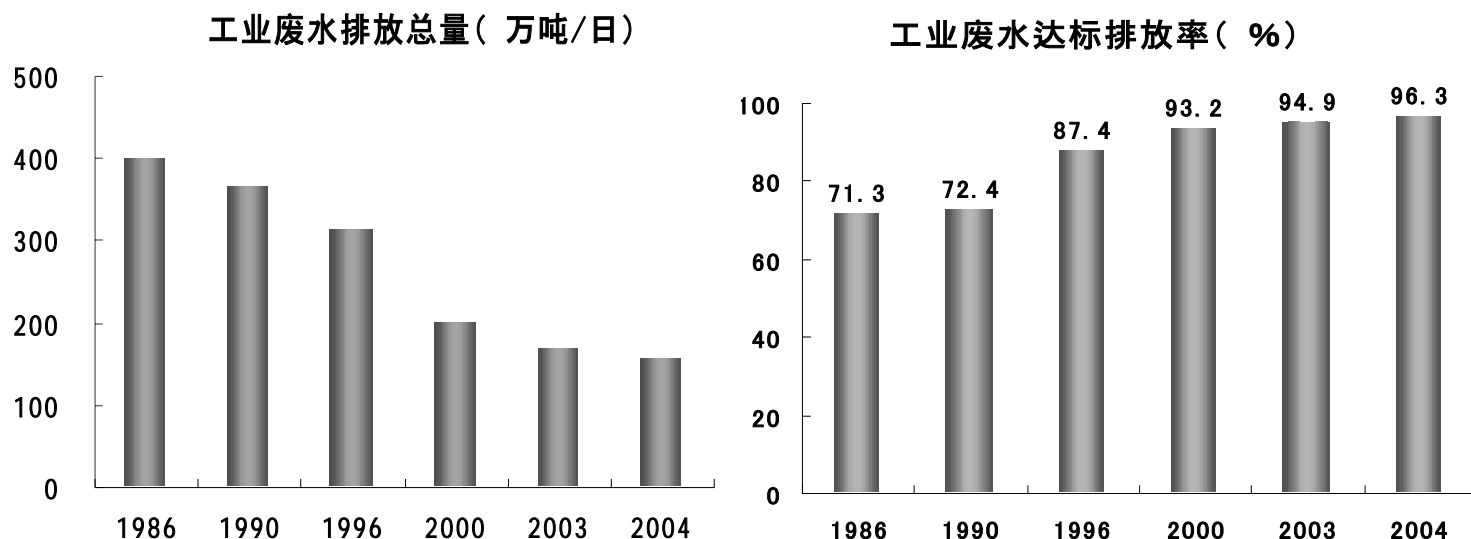


中心城区と郊区の河川水質がある程度改善した（2004年と2003年の比較）



工業汚染処理の初歩的な成果

工業汚染物質排出総量が年々減少し、基準達成率は年々向上した。



工業地域の環境整備の明らかな進展

吳淞工業地域：煙粉塵排出量は70%前後減少し、周辺地域の環境影響は明らかに低下し、主要な環境質指標は比較的明らかに改善した。

桃浦工業地域：基本的に悪臭による周辺への環境影響を除去し、住民の苦情は明らかに減少し、工場と住民の間の矛盾が緩和された。

(二) 上海市環境保護事業の問題点

- 主要汚染物質排出総量の増大：水環境汚染物質排出総量が環境容量より大きく、一部の地域の大气汚染物質排出量が環境負荷能力（訳注：原語「環境承载力」）を超えている。
- 汚染源に対して有効な規制がなされていない：一部直接環境に排出している汚染源が排出基準を達成しておらず、石炭燃焼による汚染排出は増加の趨勢にある。
- 環境質が国際的大都市と比較するとなお差がある：大气環境質の主要な指標はその他の国際的大都市と比べると劣っている。
- 農村環境の質が徐々に悪化している：大量の生活污水が未処理のまま河川に直接垂れ流しされており、生活ゴミも適切な収集処理がなされておらず、化学肥料および農薬の流出が深刻であり、農村河川に富栄養化の現象が出現している。
- 将来数年にわたり、本市は電力、化学工業などの産業を継続的に発展させる予定であるため、排出総量規制の難度が増す。石炭を主とするエネルギー構造が長期にわたって存在しており、二酸化硫黄、煙粉塵処理の難度は大きい。自動車総量の不断增加による窒素酸化物の排出量は日々増加している。
- “3つの集中”過程における環境インフラ施設が都市化の進展に遅れをとっている。

- 社会消費構造が急速に高度化するなか、電子電機廃棄物、有毒有害建築装飾材料などの各種新たな汚染が発生している。
- 2010年に万国博覧会が上海で開催される。良好な生態環境、人と自然の調和共生は、上海万博のテーマである“都市は生活をさらに良くする”という生き生きとした描写である。

現在、上海の環境質は万博開催の要求との距離は小さくなく、環境保護と生態建設の歩調を必ず速め、生態環境の改善に努力してこそ、世界の人々に喜びをもたらすのである。

二、 新たな情勢下における環境保護事業の主要な任務

指導思想：

全面的に科学的発展観と科学教育立市の主な戦略を実施し、社会主義調和社会の構築のための要求に照らし、環境保護と経済成長の両立を堅持し、社会・経済・環境の協調発展を実現し、人と自然の調和共生を徐々に実現する。

持続的に本市の生態環境質を改善し、人々にきれいな水、新鮮な空気を与え、良好な環境において生産・生活活動が行えるよう尽力する。

環境目標：

2010年：基本的に生態型都市の枠組体系を構築し、比較的完備された環境インフラの基本的な配置を行い、汚染物質排出総量と環境負荷能力をバランスさせ、緑化を科学的合理性のもとで行い、自然生態系を健全にして、環境質を良好にする。

2020年：全市の環境質を同様の国際的大都市の水準まで引き上げ、上海を“天藍地緑水清”のアメニティ型都市；汚染が全面的に規制された環境に優しい都市；全市民共同の努力による資源節約型都市；人と自然が調和する生態型都市にする。

実施原則：

三つの顕著な減少

- 環境に直接排出する汚染源を顕著に減少させる
- 排出基準を超過する汚染と違法排出企業を顕著に減少させる
- 単位 GDP 当たりの資源消費量と汚染物質排出量を顕著に減少させる

三つの向上

- 各種の汚染集中処理率と無害化処理率をさらに一步向上させる
- 環境建設の科学技術的集積量と市場化管理水準をさらに一步向上させる
- 環境保護管理の法制化と国際化の水準をさらに一步向上させる

三つの厳格なコントロール

- 環境容量に照らして、厳格に汚染物質の排出総量をコントロールする
- 技術基準に照らして、厳格に企業の排出を基準が達成されたものにする。
- 機能区分に照らして、厳格に産業の環境への影響をコントロールする。

主要措置：

持続可能な発展を堅持し、環境インフラ施設の建設に力を入れる

都市污水处理場およびその配管網を建設・完備し、生活ゴミ無害化処置施設および工業地域の環境インフラを建設する。合理的に計画配置し、プロジェクトの効果の十分な

発揮を確保する。

2010年までに、都市污水集中処理率を80%に、工業地域の污水処理率を90%以上に、生活ゴミの無害化処理率を98%にし、危険廃棄物を全面的に安全に処置する。

発展と保護の相互結合を堅持し、汚染物質排出総量を厳格に規制する

汚染物質排出基準を厳格に執行し、汚染処理の力度を高め、汚染排出許可証制度を実行する；市場参入・淘汰のメカニズムによる環境制度を構築する；資源化利用率と循環使用率を高め、汚染物質排出水準を低下させ、工業の環境にやさしいGDPの比率を向上させる。

2010年までに、環境保護重点監督管理企業と污水处理場の汚染物質の安定的な排出基準の達成を実現する；石炭火力発電所の排煙脱硫率を95%以上にする；外環状線以内全域で基本無燃煤区を建設し、外環状線以外全域で煙塵規制区を建設する。全市の二酸化硫黄排出総量と化学的酸素要求量の排出総量を環境負荷能力の範囲内に規制し、単位GDP当たりの水の消費量を大幅に低下させる。

市民のための環境保護を堅持し、環境総合整備を深化させ、広範な人民大衆の環境權益を擁護する

飲用水源の水質を優先的に保護し、都市の給水安全を確保する；中心城区の河川整備を継続して行い、河川水質を顕著に改善する；功能配置と産業構造調整により、閔行吳涇、宝山大場、金山石化などの工業地域および万博会場館周辺地域において環境整備を行う。

科学法則の遵守を堅持し、生態環境保護を高度に重視し、崇明なエコアイランドの建設に力を入れる

生態型都市の建設目標をめぐって、都市の生態サービス機能を高め、居住生態環境の質を改善し、農村の小康環境保護行動計画を展開し、郊区の環境保護の力度を強化する；自然保護区と重要な生態機能保護区の建設と管理を強化し、生物多様性を向上させる；崇明な生態環境保護規劃・建設計画を編制し、徐々に崇明な環境インフラ施設の建設を推進し、崇明なエコアイランドの建設の進捗を加速させる。

2010年までに、都市緑化被覆率を36%、郊区森林被覆率を16%に達成させる。

制度刷新を堅持し、環境保護メカニズムおよび政策を完備する

環境と発展に関する総合決定メカニズム、多様な汚染処理投資メカニズム、環境保護公衆参加メカニズム、統一監督管理と責任分担メカニズムをさらに一步完備し、環境保護に有利な国民経済計算体系と幹部考課メカニズムを構築する。環境保護を公共財政の重要な内容として、政府の投資を強化する。2010年までに、環境保護投資のGDPに占める割合を3%前後に継続して保持させる。

科学的管理を堅持し、環境保護能力の建設を強化し、法執行の監督水準を向上する

《上海市環境保護条例》を核心とし、比較的完備された地方環境保護法規体系を構築し、上海の産業の特徴と結合させて、産業別排出基準と技術規範を制定する。大衆が関心を持っている焦点となる問題や困難な問題について、法の執行の力度を高め、監督管理を強化し、各種の法的資源を運用し、厳粛に違法汚染排出企業を取り締まる。環境モニタリングネットワークと汚染源のオンラインモニタリングシステムを完備し、環境監

督管理の支援能力を強化する。各級政府の環境管理水準を向上させ、国際的大都市に相応しい環境管理体系を構築する。

(翻訳 : 大塚健司、監修 : 片岡直樹)